

だいせん

市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



大曲小学校(右)、花館小学校(左)の鹿島流し

子どもたちの成長を願いながら、武者人形を乗せた鹿島船は児童たちに見守られ、旅立ちました。

**「大仙市地元酒等乾杯
推進条例」を可決**

主な内容

CONTENTS

- 第2回定例会概要、第2回・第3回臨時会概要 2~3
- 6人の議員が一般質問 4~6
- 請願・陳情・意見書、議決結果一覧表 7
- 委員会審査のあらまし 8~9
- 市政懇談会、研修会報告、政務活動費など 10~13
- 市民の声、編集後記 14

第2回定例会

6月2日(月)～6月18日(水) 17日間

「地元酒等乾杯推進条例」可決

第2回定例会は6月2日に招集され、6月18日までの17日間の会期で行われました。本会議1日目は栗林市長の市政報告のあと、人事案9件、単行案3件、補正予算案4件の計16件が上程され、同日に人事案9件を同意と決しました。本会議2日目には4議員による一般質問が行われ、市政全般にわたって市当局の見解を質しました。本会議3日目には2議員が一般質問に登壇したほか、単行案、予算案、請願、陳情が各常任委員会に付託されました。本会議4日目には、条例案1件、人事案1件が追加提案され、計9件を原案可決、同意と決し、意見書案2件を可決、議会選出農業委員会委員4名を推薦し、閉会しました。主な内容は次のとおりです。

人事案

▼固定資産評価審査委員の選任について(全会一致で同意)

◇草薙充雄氏(美原町)再任

◇相良永一氏(北檜岡)再任

◇佐々木誠孝氏(橋本)新任

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて(全会一致で同意)

◇佐々木周悦氏(土川)再推薦

◇佐々木郁子氏(下鷲野)再推薦

◇今麗子氏(協和中淀川)再推薦

◇伊藤正勝氏(内小友)新推薦

◇高橋京子氏(北檜岡)新推薦

◇伊藤泰子氏(協和上淀川)新推薦

▼教育委員会委員の任命について(全会一致で同意)

◇三浦憲一氏(花館中町)再任

単行案

▼財産の取得(全会一致で可決)

除雪機械(ロータリー除雪車)

1台 3,704万4千円

協和除雪ステーション配備(スイングオーガ装置付き)

▼財産の取得(全会一致で可決)

除雪機械(ロータリー除雪車)

1台 3,252万9千6百円

大曲除雪ステーション配備

補正予算

▼平成26年度大仙市一般会計補正予算(第3号)(全会一致で可決)

歳入歳出予算の総額に2億2,967万3千円を追加し、補正後の総額を475億8,706万1千円とするものです。

主なものとしては、多面的機能支払交付金事業費として9,492万9千円、今冬の大雪により死亡された市民のご遺族に対する災害弔慰金として1,501万7千円、コミュニティ助成事業費として240万円、法人立保育所補助金として2,365万6千円、これは花館保育園の耐震補強及び改修工事に係るものです。また園芸メガ団地試験栽培支援事業費として40万円、治山局所防災事業費として444万5千円、道路情報管理システム整備事業費として2,086万3千円、学校施設天井等落下防止対策事業費233万7千円、国民文化祭関連事業費として125万円、鈴木空如資料調査研究事業費127万5千円などとなっております。

▼平成26年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)(全会一致で可決)

国保加入世帯の平成25年中の所得

が減少となったことなどに伴う補正864万9千円。

▼平成26年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算(第1号)(全会一致で可決)

西部学校給食センター整備事業費等1億874万5千円。

▼平成26年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第1号)(全会一致で可決)

協和スキー場第1ペアリフト緊急制動装置の修繕費450万4千円。

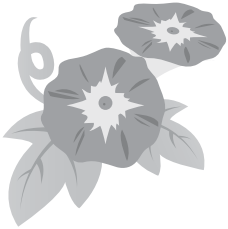


▲協和スキー場第1ペアリフト

条例案

▼大仙市地元酒等乾杯推進条例の制定について(全会一致で可決)

本市は、6つの酒蔵を含む9つの酒造会社に加え、31ヘクタールで酒造好適米を栽培しており、農業を含めた地場産業の振興と商工観光による地域経済の活性化を図るためにも、日本酒に限らず、地元酒等による乾杯を推進するものです。



第2回臨時会

4月16日(水) 1日間

4月16日(水)開催の平成26年第2回大仙市議会臨時会には、当局より市税条例の一部改正案や国民健康保険税条例の一部改正案、平成25年度一般会計補正予算(第9号)など4件の専決処分報告と平成26年度一般会計補正予算(第1号)の計5議案が上程され、全て承認・可決されました。

専決処分のうち、市税条例の一部改正については、軽自動車税の税率引き上げを伴うことから反対との討論があり、採決では賛成多数で承認されました。

国民健康保険税条例の一部改正は課税限度額の引き上げと軽減措置の拡大を行うものです。

平成25年度一般会計補正予算は豪雪に伴う除雪対策費の3億1千万円の補正のほか、水道使用料の収入増加に伴う簡易水道事業特別会計繰出金の減額補正などあわせて補正額1,805万8千円で補正後の総額は503億2,470万1千円となりました。

また平成26年度一般会計補正予算は、2月16日に一部損傷が発見され

た大曲地域・館の橋の長寿命化工事費9,730万円を補正し、補正後の総額は473億2,463万3千円となりました。



▲館の橋の長寿命化工事

第3回臨時会

4月30日(水) 1日間

4月30日(水)開催の平成26年第3回大仙市議会臨時会では、当局より、西部学校給食センター建設(厨房設備)工事請負契約の締結についてと平成26年度一般会計補正予算(第2号)の2件が上程され、全会一致で原案のとおり可決されました。

西部学校給食センター建設工事請負契約の締結については、指名競争入札により契約金額2億6,

460万円で、株式会社中西製作所東北支店と契約するもので、厨房機器設備や厨房付帯設備などの工事が5月2日から平成26年12月19日まで工期で行われます。

平成26年度一般会計補正予算第2号は、西仙北ぬく森温泉管理費の補正2,781万8千円が主なもので、ユメリア館内の空調設備であるガスヒートポンプ式エアコンの改修工事です。

その他、雪害による災害復旧事業費として、公園施設では八乙女公園の散策路防護柵破損復旧費と南外ふれあいパークため池の木柵崩落復旧費、保健体育施設では太田体育館外壁等の修繕費が盛り込まれました。

補正額は3,275万5千円で補正後の総額は473億5,738万8千円となりました。



▲八乙女公園の防護柵の破損状況

**鎌田正議員に正副議長職務
労、児玉裕一議員、千葉健
議員、大山利吉議員に永年
勤続者表彰**

5月28日に東京都日比谷公会堂で開催された「第90回全国市議会議長会定期総会」において、鎌田正議員が正副議長職務の功勞により、また、児玉裕一議員、千葉健議員が在職15年以上、大山利吉議員が在職10年以上の功勞により、表彰を受けられ、第2回定例会1日目の本会議開会前に橋村誠議長より表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。





公明党 秩父博樹 議員

Q 保育所の入所選考基準について「兄弟の有無」を反映させるべきでは
A 「兄弟姉妹が同一保育所の利用を希望する場合」を明文化する

質問 現在「保護者の状況」だけの選考基準となっているが、「兄弟の有無」についても選考基準に反映させるべきと考えるが、市当局の見解を伺いたい。

老松副市長 現在、大仙市内には認可保育所が24施設、へき地保育所と認可外保育所がそれぞれ2施設あり、28施設合わせた定員2,417人に対して、平成26年度当初において入所した児童数は2,313人となっている。そのうち認可保育所で7人が兄弟と違う保育所への入所決定となっていたが、年度当初で1人が同じ保育所に入所できたため、現在は大曲地域の6人が別々の保育所へ入所となっている。

大曲地域の中心部にある保育所では申込が集中する傾向にあることから、できる限り兄弟が同じ保育所に入所できるように、定員を超過しても入所決定してきたところであるが、今年度は6人の児童が兄弟と別の保育所となったものである。

大仙市においては、これまでも兄弟を同じ保育所に入所させるよう配慮してきたところであるが、平成27年度から開始予定の「子ども・子育て支援新制度」に向けて、従来の優先利用の調整要件である「ひとり親家庭」や「生活保護世帯」などに加

え、「兄弟姉妹が同一保育所を希望する場合」を明文化して、保護者が希望する保育所に入所できるようにしていきたい。

防災・減災に資する斜面防護・法面保護工について

質問 今後、斜面防護・法面保護工を行う場合、維持費がかららない「フォレストベンチ工法」の採用を提案するが、見解を伺いたい。

小松建設部長 フォレストベンチ工法は、斜面を壊そうとする力を、斜面を守る抑止力に変えると同時に、植樹等や緑化も行えるという新しい発想の技術と言うことで、防災面からや、周囲の環境にも合わせることができると考えている。公共土木施設の災害復旧事業への適用にあたっては、背面土圧を考慮する必要が無い箇所や景観上特に配慮すべき地域に限定される等、制約があるものと考えている。また、市の道路事業等への適用については、新設改良から維持修繕に事業がシフトしているので、今後この工法に適した現場があるかも含めて研究をしていきたい。

一般質問



新国会 小松栄治 議員

Q 人口減少対策について(要因と、又、歯止策と支援)
A 結婚の支援と若者の地元定着と人口減少抑制に努める

質問 人口減少対策として結婚支援、少子化の中の出生率低下の要因、出生率の向上への支援と取組方、又、女性の県外への転出の歯止策、今後の取組方について伺いたい。

市長 結婚支援については「むすびサポート事業」の中の「大仙結婚を支援する会」や「ドンと恋 街コンプロジェクト」など具体的に取組んでおり、又、「Anbe(あんべ)大曲」2階の市民活動交流拠点センターで第2日曜日に定期的に相談会を開催し、結婚支援活動を行っている。出生率低下の要因は女性若年層の転出、女性の未婚率の増加、晩婚化の進行、子どもを出産する数の減少である。不妊及び不育症で治療している夫婦に対し治療費の一部を助成、又、先天性風しん症候群の予防のため接種費用と抗体検査費用も加えた全額を助成している。若い女性の県外転出の歯止策は結婚支援対策、雇用対策、出生率向上対策子育て支援などの施策を講じることであり、若者の地元定着と人口減少の抑制に努めていく。

林業の育成と方向

質問 県産木材を使用し公共施設の建設を予定しているのは何件で補助金はいくら出されているのか。又、

林業従事者の後継者育成についての計画と対策を伺いたい。
市長 市内の新規若手林業従事者の5名は国県の研修制度を受け、現場作業に従事している。又、県では来春に秋田林業大学校を設置し、本年10月より研修生を募集し、若者の林業の育成や伐採等の技術の習得などの研修施設として大いに活用していただきたい。又、市でも研修希望者にどのような支援が必要なのか検討していく。

災害対策について

質問 自主防災組織を早急に100%にすべきと考えるがいかがか。又、避難所の見直し、標識などの設置や避難所への看板の設置、さらに地域版ハザードマップの完成時期と配布時期について伺いたい。
市長 自主防災組織率は今年度5月末で53.6%であるが、早急に100%を目指している。又、避難所等は継続的に見直しを行い、大規模施設を優先し順次計画を立て整備していく。尚、地域版ハザードマップは国として秋に基準が示され、来年春に完成するので、市としてはその完成を待って、平成27年度の完成と配布を目指している。



大地の会
大山利吉 議員

Q キャロライン・ケネディ駐日米国大使を大仙市に招聘しては

A 実現に向けて前向きに取り組む

内容について検討していきたい。

市道の改良について

質問 道路の拡幅、カーブの改良、側溝の手直し、生活に密着した未舗装の市道、除雪等々、今後の見通しはどうか。

市長 限られた予算の中ではあるが26年度は道路維持管理費の当初予算は増額している。幹線道路における重点課題の解消については、社会资本整備総合交付金を積極的に活用し、早期の整備完了を目指していく。

東北六魂祭について

質問 東日本大震災の犠牲者の鎮魂や復興を願って始まった祭りは今年で4回目を迎えた。来年は秋田市に決定になるようだが、それに対する本市の対応があったら聞かせていただきたい。

市長 詳細が決まり次第、本市の郷土芸能や提案のあった「中仙ドンパン踊り」を含めた地域行事の出演、物産展の開催に向けて取り組んでいく。また、観光客が本市に足を運んで頂くPRにも努めたい。

一般質問



市民クラブ
細谷洋造 議員

Q 神岡地域の放課後保育の将来展望について

A 放課後児童クラブの新たな基準となる施設としたい

地域の元気を創造するために
(子育て支援を通じての
元気の創造)

質問 昨年行われた「教育・保育・子育て支援ニーズ調査」について、現時点での報告を伺いたい。また、神岡地域協議会からも要望がある放課後保育の場所の将来展望についての考えを伺いたい。

市長 子ども・子育て支援事業計画の策定に向け、子育て支援事業の需要を把握するため、昨年10月に就学前の児童がいる全世帯を対象に、国から示されたアンケートサンプルを基に「子ども・子育て支援事業計画」に関するニーズ調査を実施した。また、市独自で小学4年生のいる世帯を対象に、主に放課後児童クラブに関わるニーズ調査も実施し、就学前児童の世帯については76・7%、小学4年生世帯については90・3%の高い回収率となっている。集計を終え、現在は分析作業を行っているところであり、その結果を基にこのあと市の方針を定め、大仙市子ども・子育て会議の意見を伺いながら、12月までには支援事業計画を策定したいと考えている。神岡児童クラブに

ついては、平成24年小学校統合に伴い余剰教室がなくなることから、西部地区区学校給食センター統合に伴い廃止となる、神岡給食センターを活用する計画を進めてきたが、設置後20年以上経過しており、改修費用が膨らむことなどから新たな設置場所について小学校に隣接する旧神岡幼稚園跡地に設置することで計画を見直している。新たな児童クラブについては、児童が伸び伸びと過ごせる環境の確保のほか、小学校6年までの利用を視野に入れ、今後の大仙市における放課後児童クラブの新たな基準となる施設として、平成27年度に建設を計画している。



旧神岡幼稚園跡地

※細谷議員は、その他、支所・学校への「地元の人」の人事配置による地域強化策について、雄物川河岸の浸食について、街路灯の設置について、第2次地域福祉計画への反映についての質問も行っていただきました。

質問 東京オリンピック・パラリンピックの開催も決定となり、これから6年間アスリートの育成、合宿の誘致もあると思うが2020年の開催に向けて、通訳やボランティアの参加を市民が一人でも多く体験できるように環境作りの為、ケネディ駐日米国大使を招聘してはいいか、市長の考えを聞かせていただきたい。

市長 子ども達の夢を育むと同時に、国際感覚を養う事を目的に継続している「こころのプロジェクト『夢の教室』」など、市として力を入れている施策の延長線上にあり、大変有意義である。地元国会議員、国際教養大学の力を頂き、実現に向けて取り組んでいきたい。

市長 地域おこしの一環として、著名人に農作業をしてもらうことにより観光や産地の知名度アップ、更には農業後継者の育成にも繋がると思うが如何か。

市長 地域の知名度アップが図られ、話題性による情報発信や観光面での効果はもとより、耕作している農家や地域住民の誇りの醸成にも役立つものと思う。継続性のあるものにするため、今後において先進事例の調査をはじめ、市民の励みとなる



日本共産党 議員
藤田和久

Q 安倍政権の暴走、
どう考えているか

A 憲法や農業など、
たいへん危惧している

質問 安倍政権は集団的自衛権の解釈変更により海外で戦争する国をめざすという。

この憲法9条を破壊する集団的自衛権行使容認について、市長の見解を伺いたい。

市長 国民の一人として考えた場合、自衛権の問題は国の最高規範である憲法に關することであるので、行政府ではなく立法府の国会で、十分に議論を尽くすべきと考える。

農協解体、農業委員会制度の改革について

質問 安倍政権は、農協解体、農業委員会制度改革の検討を指示した。

TPP・農政改革に続く農業破壊政策と考えるが、市長の見解を伺いたい。

市長 今回の農業改革案については、農家の声や農業関係団体の意見が充分に反映されておらず、問題も多く、提言には賛成しかねる。

食の自給と、食の安全に責任を持ち、更に農村社会と地域農業を守り、

引き続き営農に意欲的に取り組むことを可能とする改革にならないと考えると危惧している。

農業支援について

質問 農政改革で減反は廃止され、米価下落が予想されるほか、認定農家・集落営農等に比べて一般兼業農家には補助金関係の支援策がほとんどない。

一般兼業農家の営農が続けられる様、所得・価格などの支援策をお願いしたいが、市長の見解を伺いたい。

市長 兼業農家は地域農業を支える上でも、農村環境を保全していく上でも欠かすことのできない存在である。

規模の大小にかかわらず意欲ある経営体が、引き続き営農に取り組めるよう、収入補てん制度をはじめ、有効な補助制度の維持・拡充について、国に対し要望していきたいと考えている。

一般質問



日本共産党 議員
佐藤文字

Q 要支援者へのサービス後退は
許されない

A 決して後退としないよう
取り組む

質問 要支援者を介護保険からしめ出す突破口として訪問・通所介護を保険除外する今回の法案は医療・介護統合法案を市長はどのような思いで見られるのか。

また、要支援者へのサービス後退をさせない決意で望んでいたことが所見を伺う。

市長 今回のこの法案は、これまで講じられてきた対症療法的な改正ではなく、社会保障制度改革国民会議報告書の提案を具体化し、特に医療・介護に関して国の役割と自治体の役割を明確化し、その取り組みの方向性を示す、これまでにない大きな改正ととらえている。まさに市町村がこれまで取り組んできた地域づくりや様々な福祉施策を今後どう結びつけよう生かしていくのか、力量が試されるものだと感じている。要支援者の訪問介護、通所介護を介護保険から地域支援事業に移行することについては、サービスを受ける仕組みが変わってもサービスを必要とする人が真に必要な内容と量でサービスを受けられるようにしていかなければならない。第6期介護保険事業計画や、高齢者プラン策定過程の中で検討し、平成29年4月からの実施を目指す。また総合的な支援のため、地域包括ケアシステム構築が必要であり、そのためには医療介護の連携が特に重要であり、制度改正を見据えて、医療・介護の連携を図るための組織も設立されている。今年完成した大曲厚生医療センターとも連携できるといふ大仙市の強みも生かしながら、市や社会福祉協議会が行っている事業等の他、市民ボランティアを含む様々な社会資源や専門的な介護サービスなどを組み合わせながら、高齢者の生活を支援できる仕組みを構築し、決してサービスの後退とならないよう取り組んでいく。

※佐藤文字議員はこの他、医療・介護統合法案に關連し、特別養護老人ホーム入所を要介護3以上とすることについてと、安倍政権の教育委員会制度改革問題について、質問しました。

請 願 ・ 陳 情 ・ 意 見 書

〈請 願〉

- ◆少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択に関する請願書 【全会一致で採択】

提出者 秋田市山王
秋田県教職員組合 執行委員長 山縣 稔他1名

〈陳 情〉

- ◆手話言語法（仮称）制定に関する意見書の提出について 【全会一致で採択】

提出者 横手市黒川
一般社団法人秋田県聴力障害者協会 県南支部長 高橋圭治

〈意見書〉

- 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書

- 手話言語法（仮称）制定に関する意見書

※上記意見書は、大仙市議会常任委員会の提案により議決し、内閣総理大臣はじめ各関係大臣に提出しました。

平成26年第2回定例会 議決結果（全会一致）

番 号	件 名
議案第 68 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第 69 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第 70 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
議案第 71 号	人権擁護委員の候補者の推進につき意見を求めることについて
議案第 72 号	人権擁護委員の候補者の推進につき意見を求めることについて
議案第 73 号	人権擁護委員の候補者の推進につき意見を求めることについて
議案第 74 号	人権擁護委員の候補者の推進につき意見を求めることについて
議案第 75 号	人権擁護委員の候補者の推進につき意見を求めることについて
議案第 76 号	人権擁護委員の候補者の推進につき意見を求めることについて
議案第 85 号	教育委員会委員の任命について
以上 同 意 10 件	
議案第 77 号	財産の取得について
議案第 78 号	財産の取得について
議案第 79 号	平成26年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について
議案第 80 号	平成26年度大仙市一般会計補正予算（第3号）
議案第 81 号	平成26年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第 82 号	平成26年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）
議案第 83 号	平成26年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第1号）
議案第 84 号	大仙市地元酒等乾杯推進条例の制定について
以上 原案可決 8 件	
請願第 1 号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択に関する請願書
陳情第 11 号	手話言語法（仮称）制定に関する意見書の提出について
以上 採 択 2 件	
意見書案第 5 号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書
意見書案第 6 号	手話言語法（仮称）制定に関する意見書
以上 原案可決 2 件	

◆委員会審査のあらまし◆

上程された議案は関係各委員会に付託され、審査が行われました。各委員会での主な質疑は次のとおりです。

総務民生常任委員会

補正予算2件を審査しました。

の表し方であると思うが今後検討できないのか。

【問】 災害弔慰金は災害による死亡に支給されるが、業者から派遣され、雪下ろしの事故で亡くなった方の遺族には支給されないのか。また、その場合は業者の災害補償はどうなっているのか。

【答】 災害弔慰金は災害による死亡に支給されるが、業者から派遣され、雪下ろしの事故で亡くなった方の遺族には支給されないのか。また、その場合は業者の災害補償はどうなっているのか。

高齢者の雪下ろし事故の防止対策は

【問】 雪下ろしの事故が高年齢化している。事故が起こらないよう抜本的な改善方法を考える必要はないのか。

【答】 雪対策総合計画の検討中であり、雪下ろしも含めた、一人暮らし老人に対する除排雪対策などの計画を策定中である。まとまった時点で議会にも協議をお願いしたい。

国保の被保険者数と繰越金の見込みは

【問】 当初予算から被保険者の見込みは

の表し方であると思うが今後検討できないのか。

数の変更はあるのか、また繰越金の見込みはどうなのか。

【答】 被保険者数は当初見込みより社会保険加入者が増加し、500人ほど減少している。また繰越金の見込みは現時点で1億9千万円であり、補正後の計上額は1億7,800万円となることから、今後は約1,200万円計上できると見込んでいます。

企画産業常任委員会

条例案1件、補正予算案1件を審査しました。

農業活力創造懇話会の設立

【問】 この懇話会委員の選定状況は。

【答】 グループを3つに分け、それぞれ20名ほどで、一つ目は将来の担い手グループ、二つ目は認定農業者で40歳以上の方や農業法人からの推薦者、三つ目は市内で加工所やレストラン、直売所を運営されている代表者と消費者の方々を予定している。



▲東部農業研修施設とスイカ・メロン等の栽培を学ぶ研修生達

大仙市地元酒等乾杯推進条例の制定を提案

【提案理由】 広大な山林による豊富で清冽な湧水に恵まれた本市は、6つの酒蔵を有し、県内有数の酒処として知られており、現在9つの酒造会社で日本酒が製造されている。このようなことから当委員会では、地元産のお酒等を愛飲する気運を醸成し、地元のお酒等の消費拡大を図り、地元産業の振興及び商工観光の発展に資する必要があるのではと考え、当委員会で協議の結果、これからの大仙市をPRし、且つ、郷土の伝統文化を継承していく取り組みのための合言葉として、地元酒等による乾杯を推進する必要があるとの結論に至ったものである。

市内には9つの酒造会社があり、それぞれ優れたお酒を製造している。



教育福祉常任委員会

単行案1件、補正予算案3件、請願1件、陳情1件を審査しました。

法人立保育所補助金について

【問】 はなだて保育園で漏電の危険性があるとのことだが、定期的な検査は行っているか。

【答】 電気保安協会の点検は年1回受けている。同園について漏電の可能性があり、耐震補強工事と併せて屋上防水改修工事を行う。



▲耐震工事をする「はなだて保育園」

【問】 開所から38年経過している同園に今、2千万円以上もかけ何年もたせる予定か。

【答】 はなだて保育園の耐用年数は47年となっている。今回補強工事をする事により、さらに安全環境が整えられる。

学校施設天井等落下防止対策事業費について

【問】 今回工事する大曲小学校以外の学校の状況はどうか。

【答】 市内32小・中学校について調査は全て終了している。対策が必要な学校について、28年度までに終了する計画となっている。



▲鈴木空如の法隆寺金堂壁画模写 (6号大壁 阿弥陀浄土図)

国民文化祭関連事業費について

【問】 鈴木空如の作品展示は太田文化プラザとのことだが、もつと人が来やすい場所にしてはどうか。

【答】 作品の大きさが4メートルあり、市内で展示できるケースがあるのは、太田文化プラザと旧池田氏庭園内米蔵だけで、まずは米蔵でご覧いただき、さらに興味がある方々は太田地域に足を運んでいただきたいと考えている。

【問】 木村伊兵衛、鈴木空如作品ともに素晴らしいが、今後広く周知していくことが課題である。例として敬老会等で展示し、多くの方にご覧いただきたい。どうか。

【答】 貴重な資源であり、身近な会場で巡回展のような形で展示を検討してまいりたい。

建設水道常任委員会

単行案2件、補正予算案1件を審査しました。

除雪機械の入札・更新について

【問】 ローターリー除雪車の入札が2社だけの理由は何か。

【答】 秋田県内において営業所を有するメーカー、又は、正規の代理店から直接納入できる業者を選定した結果、2社しかおらず、その2社を指名した。

【問】 除雪機械の更新に関して、基本的なルールはあるか。

【答】 老朽化による出力低下及び修繕料の増加が著しいものや、必要に応じて各地の状況を勘案しながら、年3台程度を目標に更新計画を立てている。古くなった機械は緊急時に活用する待機車両に、あるいは入札により払い下げを行っている。



▲待機車両 (H6年配備)



▲仙北地域と同規格の除雪車を配備 (大曲地域)

◆大仙市議会「市政懇談会」を開催◆

250人の市民が参加

大仙市議会基本条例に基づき、去る6月23日～27日までの5日間、大仙市議会「市政懇談会」を開催しました。議員が5班編成で市内10箇所に出向き、議会の活動状況、平成26年度当初予算の主な事業について報告し、「農業問題」・「人口減少問題」をテーマに意見交換を行いました。市民の皆様からはテーマに関連したご意見のほかにも、買い物弱者への対応、地域コミュニティの維持など、たくさんのご意見・ご提言をいただきました。

また、アンケートも行い、「議員の意見を直接聞けることが良かった」、「テーマを絞って話し合いをしたことはとても良かった」、「いろいろ参考になったので今後も続けてほしい」、「もっと若い人たちが参加できるように企画してほしい」、「テーマが大きいので参加しにくかった」、「少子化対策について具体的政策を聞きたかった」などのご意見もいただきました。詳細については、後日、だいせん市議会だより38号でお知らせいたします。

今後、これらのご意見を参考に、市民の皆様のご要望を把握し、さらに開かれた議会を目指してまいります。

市民の皆様から開催のご要望があれば、いつでも皆様の所へ出向きますので、お知らせください。

「市政懇談会」への出席者数

開催日	場 所	人 数
6月23日(月)	南外コミュニティセンター	21人
	サンクレスト大曲	20人
6月24日(火)	内小友公民館	5人
	角間川公民館	15人
6月25日(水)	神岡福祉センター	21人
	中仙農村環境改善センター	18人
6月26日(木)	西仙北支所	44人
	協和支所	31人
6月27日(金)	太田文化プラザ	43人
	仙北支所	32人
計		250人



▲太田地域での市政懇談会

先進地に学ぶ

総務民生常任委員会

◆災害時の議会と議員の行動基準を学ぶ

大災害発生時の議会対応に先進的な取り組みをしている大津市議会を視察した。

大津市では東日本大震災や平成24年に被災した豪雨災害の経験から、大規模災害発生時に議会の迅速な意思決定と多様な市民要望を反映できる議会機能維持を目的に、組織体制や議員の行動基準等が内容の「議会業務継続計画」を策定していた。

計画は議員と事務局職員の安全確保、審議を行う環境の確保整備、適確な情報の収集と把握を三本柱とした詳細な計画を定めていた。その中で行動基準としては、市に災害対策本部が設置された時、議会は正副議長と各党派代表者で災害対策会議を設置し、議会の意思決定の事前調整を行う事や発災後の各議員の行動基準を、初動期（発生日～3日）には安否確認、情報収集等災害対策会議に参集するまで地域活動に従事する。中期（3日～7日）には災害情報の収集と把握・共有とともに、災害対策会議の指示に基づき参集し、議員活動に専念する。後期（7日～1カ月）には本会議、委員会を開催できる議会機能を早期に回復し、復旧・復興予算等を審議する。1カ月後には平常時の組織体制に戻し、復興計画等を審議する事や各時期の応じた議会事務局体制も定めていた。

この計画は大学の専門的知見者の力も借りて、議会の政策検討会で原

案が練られていた。

同計画はスタートしたばかりであり、課題もあると感じたが、二元代表の基で議会が災害対策指針を持つ必要性を感じた。又、策定過程でワークショップを行っていたことは、議会の政策立案の進め方として参考になった。



▲大津市で研修を行う総務民生常任委員会

◆地域資源を活用した小水力発電を調査

三重県多気町勢和地区の立梅用水という土地改良区では、江戸時代で作られた用水路は、防災、観光、教育、福祉、生活、小水力発電、農村環境保全、生態系保全、歴史的遺産、地域の協力・自治の形成の多面的機能を持つとの伝統的な考えで用水路を核とした広範な地域づくり活動を実践していた。

小水力発電は大学や行政、民間コンサルとの産・官・学・民の連携を進めていた。

発電した電力は隣接する農業6次産業活性化施設で米粉製粉加工、照明などに使われていた。今は試験段階であり、今後2基増設計画があり、発電した電力は売電でなく、集落の街路灯や近くにある薬草活用温泉の熱源ハウス栽培にも活用したいとの事。用水路の資源活用は大仙市でも検討の価値があると感じた。

(委員長 金谷道男 記)

「議会基本条例」制定後 初の研修会を開催

本市議会では、市政の情報公開と市民参加を基本とし、市民が安心して生活できる豊かな大仙市のまちづくりを実現する事を目的に議会基本条例を制定、施行されております。

この条例には一般選挙後、速やかに基本条例の研修を行うこと、また、この条例の目的が達成されているかどうかを検討することが規定されており、そうした事から去る6月5日に青森中央学院大学経営法学部の佐藤淳先生を講師にお迎えし、「実効性のある議会基本条例に向けて」と題して講演をして頂きました。特に佐藤先生の講演を拝聴し感じた事は、全ての条例項目について、基本条例の先進地である他市の例を引き合いに出し、こと細かく解りやすくお話をして頂いたことであります。

例えば、執行機関の事務についての監視及び評価の取り組みや、議会独自の政策立案及び政策提言の仕方、また議員相互間の自由討議とその成果等々であります。そしてまた、一昨年より実施しております市政懇談会については、予想に反して高い評価を得たところであり、多くの市民が関心を持って読んでもらえる工夫も大事だという意見でありまし



▲研修会の様子

委員長 佐藤清吉 (記)

た。ただ残念なことは、早稲田大学マニフェスト研究所では、毎年全国の地方議会を対象に、その議会での「情報公開」・「住民参加」・「議会機能強化」の3項目の状況を独自基準で採点評価し、議会改革度ランキングとして公表しておりますが、当市議会のあると認識したところであります。初めての議員研修会でありましたが、講師の佐藤先生からは私共議員にとりまして大変参考になるお話を頂き、課題解決の入口が見えたような思いであります。これからもより一層「市民に開かれた議会」を目指し、議会基本条例に則って議会改革に取り組みたいと思います。

(議会改革推進会議)

観光推進議員連盟 研修会を開催

大仙市内にある自然の美しさ、温泉、料理、農業、教育、歴史文化など、多くの誇れるものを見つけ出し、外に発送、発信することを目的に管内を4回に分けて視察をする計画を立て、第1回目として太田・仙北地域の研修を6月6日に行いました。仙北地域では、旧池田氏庭園と払田柵跡にスポットを当てて見ましたが、どちらも歴史を感じる所で、共に現在復元に向けて着々と工事が進められており、完成すれば一大観光地の目玉になることは間違いありません。当日は文化財保護課より説明をしていただき、当時の偉大な先人達の国づくりの様子や、太古のロマンを感じることが出来ました。又、観光案内人の養成も行われており、ハード・ソフト両面で準備が進められており、心強く感じたところです。



▲旧池田氏庭園 米蔵の修復状況



▲新設された川口溪谷の休憩所

会長 高橋幸晴 (記)

(観光推進議員連盟)

太田地域では、大台スキー場ロッジで5月から11月まで毎週日曜日に営業しております太田の手打ちソバを特別に作っていただき試食を頂きました。三本扇の小柳悦郎さんが育てたソバを粉にしたものを、独自の技法で作った手打ちソバは格別です。腹拵えのあとは真木真昼自然公園内にある川口溪谷の散策と、大台スキー場からの仙北平野の眺望を体験しました。正に大仙市のパワースポットと言っても良いでしょう。奥羽山荘で汗を流し、心身共にリフレッシュ出来た1日でした。

皆さんもこのコースを一度回ってみてはいかがでしょうか。今回の研修にご協力いただきました皆さんに感謝申し上げます。次回は9月に大曲・南外地域を予定しております。

平成25年度政務活動費会派別収支状況

政務活動費は、議員の調査研究活動に必要な経費として、会派ごとに交付されております。
 交付額は、1人当たり月15,000円です。
 平成25年度は、9月22日に議員選挙があったため、前期・後期に分けて交付されております。
 収支の内容は、毎年度議長に報告され、残額がある場合は市に返還することになっております。

【前期分 平成25年4月～平成25年9月】

(単位：円)

項目	会派名	大地の会 (11人)	だいせんの会 (6人)	新政会 (6人)	市民クラブ (2人)	公明党 (1人)	日本共産党 (1人)	まっすぐ大仙 (1人)
会派への交付額		990,000	540,000	540,000	180,000	90,000	90,000	90,000
支出額		0	480,065	480,065	80,010	90,000	0	55,175
内 訳	調査研究費		472,911	472,911	78,818			
	研修費					86,100		46,415
	広報費							
	広聴費							
	要請・陳情費							
	会議費							
	資料作成費							
	資料購入費							8,760
その他経費			7,154	7,154	1,192	3,900		
差引額(返還額)		990,000	59,935	59,935	99,990	0	90,000	34,825

【後期分 平成25年11月～平成26年3月】

(単位：円)

項目	会派名	大地の会 (12人)	新政会 (6人)	だいせんの会 (5人)	市民クラブ (2人)	日本共産党 (2人)	公明党 (1人)
会派への交付額		900,000	450,000	375,000	150,000	150,000	75,000
支出額		900,000	450,000	243,313	137,130	8,915	75,000
内 訳	調査研究費	900,000	438,540	219,058	133,310		73,090
	研修費						
	広報費						
	広聴費						
	要請・陳情費						
	会議費						
	資料作成費						
	資料購入費			24,255		8,915	
その他経費			11,460		3,820		1,910
差引額(返還額)		0	0	131,687	12,870	141,085	0

政務活動費につきましては、市民の方ならどなたでも閲覧できます。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

※後期分は規定により、新たに会派が結成された月(10月)の翌月分より交付しております。

【政務活動費の項目解説】 (主なもの)

- 調査研究費**：市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費(資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、宿泊費等)
- 研修費**：研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費(講師謝金、会場費、交通費、宿泊費、文書通信費、参加費等)
- 資料購入費**：活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費(書籍購入費、新聞雑誌購読料、有料データベース利用料等)
- その他の経費**：その他の活動に必要な諸費

議長交際費 (4月1日～6月30日)

項目	件数	金額
予算額		900,000円
支出額	25件	190,338円
内 訳	弔慰	1件 10,000円
	慶祝	20件 142,000円
	協賛	4件 38,338円
予算残額		709,662円

議長交際費は、議長が対外的な活動をするために要する経費です。支出する個人又は団体は次のとおりです。

- (1)市の事務事業と直接かつ密接な関係にあるもの
 - (2)市勢の伸展に功績があったもの
 - (3)議長が特に必要と認めたもの
- また、主に次の経費に支出されます。
- (1)祝賀会、式典等の参加等に係る経費のほか、市政運営に資する意見交換、情報収集の懇談、友好都市等の懇談等に係る経費

(2)葬儀、法要、供養等における香典、供物、供花等に係る経費など

議長交際費は、その支出内容や金額が常に社会通念に沿うとともに、市民感覚に合致したものとなるよう、社会経済状況の変化等に応じて、適時見直しを行っております。

議会のうごき

〔6月〕										〔5月〕										〔4月〕									
30日	27日	26日	25日	24日	23日	18日	16日	12日	11日	10日	6日	5日	2日	22日	21日	20日	14日	9日	8日	7日	2日	30日	25日	23日	16日	14日	10日	1日	
大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会	大曲仙北広域市町村圏組合臨時議会



9月定例会日程のお知らせ

- 8月28日(木) 本会議第1日 (市政報告・議案上程等)
- 9月8日(月) 本会議第2日 (一般質問)
- 9日(火) 本会議第3日 (一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 10日(水)・11日(木) 常任委員会審査
- 18日(木) 本会議第4日 (委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。



皆様の傍聴をお待ちしています。

用語の解説

第2回定例会で、大仙市地元酒等乾杯推進条例を全会一致で可決しました。それにちなんで、今回、条例制定について解説をします。

条例とは、市の仕事の進め方や議会の進め方など、地方自治体の基本的なルールです。

〔条例制定の流れ〕

○市長からの提案 ↓ 説明 ↓ 質疑
↓ 所管する常任委員会審査 ↓ 委員長報告 ↓ (委員長に対する) 質疑 ↓ 討論 ↓ 採決

○議員からの提案 ↓ 説明 ↓ 質疑
↓ 所管する常任委員会審査 ↓ 委員長報告 ↓ (委員長に対する) 質疑 ↓ 討論 ↓ 採決

※議員からの提案は、議員定数の12分の1以上の賛成者（大仙市の場合は議員定数が28人なので3人以上の賛成者）が必要。また常任委員会や特別委員会でも提案することができ、その際には〇〇の所管する常任委員会の審査と委員長報告は実施されません。

●議会本会議での採決により条例が制定されます。

議員提案としては、「大仙市議会基本条例」、「大仙市議会議員の定数を定める条例」、「大仙市議会議員政治倫理条例」などがあります。

市民の声

2005年の大仙市誕生以降、行政サービスが向上し、各分野において、ある一定の成果が上がっていると評価することが出来るのではないのでしょうか。

現在、人口や世帯数の将来推移が取りざたされる中、人口構造の変化が及ぼす影響が問題となつていきます。大仙市では、地域別の人口と世帯数を統計資料として纏められていて、毎月の推移を知ることが出来ます。私が暮らす神岡地域では、日中に生産年齢世代を見かけることが、年々少なくなつていると感じます。今後、もしかすれば、地域コミュニティや諸々のバランスが大きく崩れてしまうのではないかと危惧しています。大仙市が住みよい街であり、そこで暮らす市民が豊かな心を持ち続ける為に、今まで培った経験やシステムを活かしローカライズしていくことが必要と考えます。そして、地域や組織・世代を超えて、お互いを尊敬し合い交流する環境が今まで以上に大切と思えます。

神岡地域 武藤 良仁

「そうだそうだ！」

思わず叫びたくなる気持ちを揉み込む私。ここは議会傍聴席。かなり勉強してきたであろう議員の質問に対し、真摯にかつ丁寧に答弁する市側に感心する。私自身、今まで選挙には必ず行ってきた。が、議会を傍聴するのは初めてのことである。

受付を済ませて、傍聴席入口へ行くと、大仙市議会傍聴規則抜粋が掲げてあった。議場の秩序を乱したり、会議を妨害したりするようなことは厳につつしんでください、等々。

そういうえば……この原稿を依頼された時、都議会のヤジのニュースが飛びこんできた。その件について意見を述べる気はないが、大仙市議会に関していえば、特に問題なく粛々と議会は進行していった。

ああ、もつと早く聞きにくれば良かった。市議会だより等で読むのと、実際に目の前で、生で見聞きするのは、やはり違う。そのことに気付いただけでも収穫だ。この次は、誰かを誘って来ようと思った。

大曲地域 佐々木 智子

大仙市の歴史巡り (西仙北地域)

刈和野の大綱引きの額絵



刈和野にある浮島神社に残されている額絵は、137年前の明治10年に描かれたもので、室町時代から続く国重要無形民俗文化財「刈和野の大綱引き」が行われる前に、雄綱(64m、10トン)と雌綱(50m、10トン)をそれぞれ引き合いの中心部に飾り、市神様を安置してご祈禱している様子が描かれている。ちょんまげに袴と、髪型や恰好こそ違えど、今と同じように神事を執り行っている様子が見てとれる。

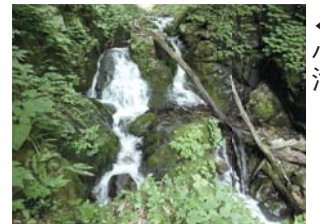
引き合いが終わった大綱は、市神様が合祀されている浮嶋神社に奉納されその役割を終え、翌年、新藁を使い、手作業によって再び大綱が作られる。(後藤健 記)

大仙市の名勝巡り (中仙地域)

小滝・大滝



大滝



小滝

「東山」の愛称で親しまれていく奥羽山脈、その中の小滝山(中仙地域)のふもとに「東山ふれあいの森」がある。この地域は、澄んだ水の溪流と大小の滝を見ることができる。

また、登山道を30分登ると貴重なブナの原生も見ることができ、野鳥の声も響く癒しの空間である。

その「東山ふれあいの森」駐車場より沢登り40分の地点に小滝地区の地名の由来とも言われている「小滝」があり、更に、20分程度沢を登ると「大滝」がある。自然の緑の中にある「大滝」、約30mの高さから流れ落ちる水が、下のほうでは水しぶきとなり、多くのコケが岩に生息している。

沢登りの疲れを忘れさせ、来てよかったと思わせるすばらしい滝と木々の緑でした。(佐藤育男 記)

編集後記

「市議会だより」を通じて議会の活動を市民の皆様に分かりやすく興味を持って見ていただけるよう努めているところですが、まだまだ改善が必要のようです。

議会の流れや年間行事では特に変わったことが無いので、市民の皆様は同じ事の繰り返しと思つている人も多いと思います。

今回の第2回定例会は少し違っています。全云一致で可決となった「地元酒等乾杯推進条例」は議員提案での条例であり、通常は市長からの提案を議会が審議することが多いところですが、今後も市民の皆様の声を多く聴いて議員提案条例を多く可決させ、市民の皆様と一緒に我が大仙市を住みやすくしていきたいと考えています。

市民の皆様のご意見が議会を通じて反映される事で議会に興味を持っていたら、親しみある開かれた議会を作ることが出来るものと考え、今後も頑張つて参ります。

編集委員 古谷 武美